

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔家具転倒防止器具取付事業〕										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4	
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの										
担当部署・課長名		高齢介護 課 高齢福祉				係	課長名		伊野宮 崇			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施 策 番 号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総 合 計 画 書 (ページ)	51			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	下記いずれかの者で構成された世帯 ・70歳以上の者 ・身体障害者手帳2級以上の交付を受けた者 ・愛の手帳の交付を受けた者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の交付を受けた者					単身高齢者世帯数・高齢者のみ世帯数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	高齢者等の生命及び財産を地震災害から守り、高齢者等の生活の安全を図りたい。					器具取付実施世帯数 →						
指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	高齢者、身体障害者及び知的障害者で構成された世帯の家具等に、家具転倒防止器具等の取付けを行う。1年のうち一定の期間内において申請を受け、器具等の取付け作業は市からシルバー人材センターに委託している。申請者の費用負担なし。					年間器具取付可能世帯数 →						
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
	対象指標	①の数値	世帯	平成30年度実績 単身高齢者世帯 6,093 高齢者のみ世帯(推計)4,742 H30.4.1現在	平成31年度実績 単身高齢者世帯 6,279 高齢者のみ世帯(推計)4,798 H31.4.1現在	令和2年度実績 単身高齢者世帯 6,481 高齢者のみ世帯(推計)4,833 R2.4.1現在	令和3年度目標	令和4年度目標				
成果指標	②の数値	世帯	29	13	12							
目 標	②の目標値				29							
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）												
活動指標	③の数値	世帯	35	35	35							
3 経費	事業費（実績）		円	541,346	274,231	244,277	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）					
	財 源	一般財源	円	270,673	137,231	122,277						
		特定財源	円	270,673	137,000	122,000						
		(うち受益者負担)	円									
	人 件 費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	1,365,746	1,105,231	1,082,277							
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く											
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く											